



いちばん小さい恐竜は何なの

ニワトリぐらいの大きさの恐竜

今まで発見されたなかで、いちばん小さい恐竜とされているのは、コンプソグナトゥス（小さいあごという意味）とよばれるものです。ドイツからフランスの南部あたりで、化石が発見されています。

頭の前からしっぽの先までの長さは、だいたい60センチメートルぐらい、体重はおおよそ3キログラムで、体の大きさとしては、今いるニワトリぐらいだったのです。

体は小さくても肉食で、すばしこく動いて、トカゲなどを食べていたようです。首としっぽが長く、前足の指が、ティラノサウルスと同じように、2本しかありません。

鳥の体にそっくり

体の骨組が、鳥の先祖といわれている始祖鳥（アーケオプテリクス）と、とてもよく似ていて、鳥に近い仲間だったようです。

この恐竜や始祖鳥が生きていたのは、今から1億5000万年前ごろです。

（監修・今泉 忠明）

